

雑草アタック α 標準施工手順

施工用途

防草用・簡易舗装用

施工方式

材料敷き均し・散水方式

1. 施工場所の除草・整正・転圧

施工場所の雑草を根茎から完全に除去し、土面に凸凹がある場合は転圧し平らにします。

柔らかい土壌や客土の場合は、基面に転圧を施し、しっかり締め固めます。

基面処理は雑草根茎遮断層又は路盤として必ず、砕石を50～100mmの厚さで敷設してください。



除草作業



下地基盤整正・転圧作業



砕石敷き均し・転圧作業



排水層完成

2. 下地散水

下地に1㎡当り4～5ℓ程度を水溜まりができない程度にまんべんなく散水します。



下地散水作業

3. 配袋・敷き均し

まず、雑草アタック α を1㎡ごとに2～3袋ずつ、開封せずに均等に配ります。配袋完了後に雑草アタック α をその場で開封して材料をトンボ、レーキ、コテを用い不陸が生じないよう均一に敷き均します。雑草アタック α は、打ち継ぎ目が少なくなるようにできるだけ広く一度に敷き均してください。作業を中断する場合は必ず、**打ち継ぎ目は、角材(桟木)止めをしてください。**



敷き均し作業



施工打ち継ぎ目(角材止め)

防草用(施工厚さ $t=25\text{mm}$ の場合) 2袋/㎡ (36kg/㎡)

※絶乾状態で袋詰めしていますので、風の強い日等は飛散に注意してください。

簡易舗装用(施工厚さ $t=30\text{mm}$ の場合) 2.5～3袋/㎡ (45～54kg/㎡)

注) 2袋の材料敷き均し後の平均厚さ t ≈ 約28mm

4. 不陸調整(コテ仕上げ)

雑草アタック α を敷き均した後に、コテで軽く全体を締め固めながら表面を仕上げます。

注) 不陸調整をせずに散水・転圧を行いますと、仕上り面に凹凸ができ、降雨後に水溜りが出来ることがありますので、散水前に必ずコテで軽く押さえながら平らに仕上げることをお勧めします。



一次転圧作業・不陸調整作業

雑草アタックα標準施工手順

5. 一次散水

シャワー状のノズルで水が表面に浮くまでしっかり散水します。しばらくの間、雑草アタックα内部から気泡が出てきますが、気泡が出なくなるまでしっかり下地まで完全に浸透するように数回に分けて十分に散水します。散水方法は表面の気泡をシャワー状の水で消すようにして、表面に水が少し溜まるまでかけてください。気泡を確実につぶしておきまないと、仕上げ面に気泡の跡が残りますので注意してください。

散水ムラを無くすために、一度に広範囲を散水するのではなく、ある程度、狭い範囲を数日に分けて、ムラなく散水しながら、散水範囲を全体に広げてください。散水目安として1㎡に7~8ℓです。ホースやバケツによる大量散水は表面洗掘・固化材流出の原因になります。一度に多量に散水すると表面に固化成分が浮き、白華現象の原因となります。また、ジョウロでも散水ムラが生じることがあるので、水道栓や水タンクから給水ポンプなどを使用して連続的に散水を行うと、よりムラなく仕上がります。散水完了後3~5分間待ち、雑草アタックαに数か所小さな穴をあけて、水が完全に下まで浸透していることを確認してください。散水不足になると固化不良を起こし表層剥離やクラックの原因になります。

※必ず雑草アタックαに水が完全に浸透しているのを確認してください。

締め固め前の散水は、表面に水が溜まり過ぎるまで撒きますと、極端に軟らかくなり過ぎて、転圧(ハンドローラー)がかけられなくなりますのでご注意ください。



一次散水作業

6. 転圧(転圧用ローラー使用)

十分に水を浸透させた後、転圧用ローラーや木ゴテで不陸の無いように、しっかり締め固めます。転圧用ローラーはできるだけ手早く3往復程度で仕上げてください。仕上げ面のざらつきを抑え、耐久性向上のために、ローラーをご使用ください。

転圧後の与盛は表層分離の原因になりますので、時間を空けて何層も塗り重ねずに、出来るだけ短時間に1層仕上げを行ってください。あまり、コテで表面を擦るように仕上げますと、透水性が落ちたり、表面剥離の原因となりますので、できるだけ上から抑えるようにして仕上げてください。降雨による表面排水を考慮し、2%以上の勾配を付けることをお勧めします。



二次転圧(ローラー転圧)作業

7. 二次散水(養生散水)

転圧完了後、直ぐに1㎡当たり6~8ℓを養生散水として数回に分けて十分に行ってください。必ず表面に軽く水が浮いてくるまで、しっかり散水を行ってください。

8. 養生シート敷設

雑草アタックαは、日本の伝統的な左官手法を用いてすべて自然素材から出来ています。また、固化成分はセメント類や合成樹脂を使用せずに、海水から抽出された天然のにがり成分(酸化マグネシウム)を使用しています。そのため、セメントを用いた製品に比べ、固化するのに少し時間がかかります。



冬の凍結防止のための保温マット設置事例

施工表面が固まる前に雨に打たれますと、表面砂や竹繊維が洗われざらついたり凹凸のある状態になってしまいます。

また、夏期などは日照により急激に乾燥を起こす恐れがありますので、ひび割れを予防するために小まめに散水をされるか、養生シートなどで覆われることをお勧めします。冬期に施工後の夜間などで気温が氷点下になることが予想される場合は、凍結防止のために保温マットのご使用をお願いします。また、保温マットは直接、雑草アタックα表面に密着させますと水和反応熱による結露でシミができる恐れがありますので、保温マットを少し浮かせて全面を覆うように設置してください。

9. 完成



BEFORE



AFTER

雑草アタック α 表面補修手順

1. 表面清掃作業

雑草アタック α 表面の劣化した箇所や溜まった土などをきれいに除去した後水で洗い流します。

清掃作業



水洗浄作業



2. 補修用雑草アタック α 敷き均し

補修用雑草アタック α を厚さ5mm~10mm程度の厚さでコテやほうきで平らに敷き均します。(補修用雑草アタック α 使用量 2~3㎡に1袋)

補修用雑草アタック α



敷き均し作業



3. 散水作業

補修用雑草アタック α に1㎡当り3リットル程度の散水を行います。

敷き均した補修用雑草アタック α をより強固にするために、塩化マグネシウム水溶液(重量比で水:塩化マグネシウム=1:1)の使用が必要です。



別途運賃 LT 約7日
■ サニーキーパー (塩化マグネシウム)
E225SKP001 3,000円/袋 (25kg)
1袋で8㎡施工可能

散水作業



4. 転圧作業

散水後15分程度時間をおいてから、コテで表面を軽く押さえます。

注) 散水直後にコテで押さえますと、薄く敷き均した補修用雑草アタック α がコテに付着して剥離しますので注意してください。

表面コテ仕上げ



表面コテ仕上げ



5. 養生散水

最後に再度、1㎡当り2リットル程度の散水を行います。ここでも、敷き均した補修用の雑草アタック α をより強固にするために、塩化マグネシウム水溶液(重量比で水:塩化マグネシウム=1:1)の使用が必要です。

塩化マグネシウム(商品名:サニーキーパー)



散水作業

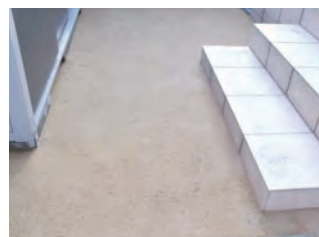


6. 完成

BEFORE



AFTER



施工上の注意事項

- ① 雑草アタックαは、絶乾状態で袋詰めしていますので風の強い日は飛散にご注意ください。
- ② 一次散水では、時間をおかずに、規定散水量(7～8ℓ/㎡)を数回に分けてしっかり行ってください。**一次散水は、散水を始めて必ず15分以内に規定水量を散布してください。二次散水(養生散水)も、ローラー転圧後に速やかに行ってください。**
- ③ 散水後の転圧とコテあては、時間をかけ過ぎますと表面の強度を低下させますので、できるだけ短期間に仕上げてください。
- ④ **猛暑時(30℃以上)や強風時は、急激な乾燥によりドライアウトや乾燥収縮が発生する恐れがありますので、施工を避けてください。**やむおえず、施工される場合は、表面の乾燥状態に注意しながら、こまめな養生散水やシート等で直射日光を避け急激な乾燥を回避してください。
- ⑤ **雨天時は施工できません。**施工翌日に降雨が予想される場合には、洗掘防止のために養生シートで覆ってください。
- ⑥ 厳寒期(外気温5℃以下)の場合は施工を避けてください。
- ⑦ 施工後に気温が下がり凍結が予想される場合は、保温マットなどで凍結を防ぐ適切な養生を施してください。
- ⑧ **養生散水後のコテあては、表面の強度を低下させ、表層剥離の原因となります。必要最小限に留めてください。**
- ⑨ 湿潤で日陰な場所では、コケなどが自然に発生する場合があります。
- ⑩ 材料敷き均し・散水方式では、表面はざらつきのある自然な仕上りとなります。
- ⑪ 雑草アタックαは、セメント系固化材を一切使用せず、自然素材だけから作られていますので、駐車場などの耐摩耗性の求められる舗装には適していません。
- ⑫ **施工端部は壊れやすいので、見切り板やレンガ等で保護することをお勧めします。**
- ⑬ 雑草アタックαは、水と反応して固化する際、僅かに膨張する傾向があります。
このため、施工範囲がレンガやコンクリートで囲まれ、施工面積が50㎡以上ある場合は、厚さ10mmの目地材(セーフタイト等)を設置されることをお勧めします。
- ⑭ **雨垂れや水滴の集中する箇所は表面が洗掘されますので、捨石、レンガ等を配置してください。**
- ⑮ 雑草アタックαは、長時間水に浸かるような場所には使えません。
- ⑯ 本製品はセメント製品ではございません。天然素材だけで改良された自然土です。そのため、自然環境(凍上、凍結融解作用、暴雨)などによる浮砂・風化・浸食・剥離・クラックなどが起きる場合があります。自然素材の風合いとしてご理解ください。
- ⑰ 通常、施工後に雑草アタックα表面が降雨で完全に流されなくなる状態に固まるのに夏期で1～2日、冬期で2～3日程かかります。そのため、施工翌日に降雨が予想される場合は、必ず、養生シート(ブルーシートなど)で覆ってください。
- ⑱ コケ・カビ・汚れ・剥離・雨垂れ穴が発生した場合は、弊社HPの取扱説明書ダウンロードページより補修マニュアルを参照ください。

安全上の注意事項

- ① 施工時は出来るだけ材料が直接肌に触れないように、ゴム手袋や必要に応じて保護メガネや防塵マスクを使用してください。
- ② 万一目に入った際には、目を擦らないで清浄な水で十分洗浄し、医師の診断を受けてください。
- ③ 誤って飲み込んだ場合は水でよく口の中を洗い、吐かせず何も飲ませないで医師の診断を受けてください。